



2019年8月期 決算説明会資料

2019年10月11日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文

2019年8月期 決算概要



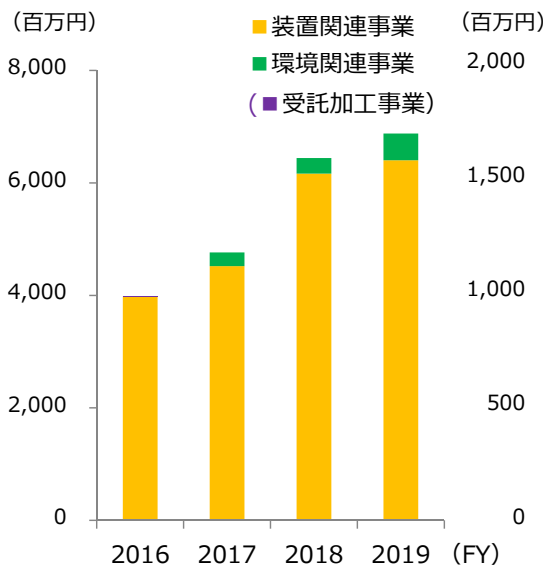
連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年8月期		2019年8月期								
	実績		期初予想 (2018.10.9)		修正予想 (2019.4.10)		実績				
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想 比(%)	修正予想 比(%)
売上高	6,444	100.0	7,002	100.0	6,762	100.0	6,878	100.0	6.7	△1.8	1.7
売上総利益	1,549	24.0	1,549	22.1	1,618	23.9	1,662	24.2	7.3	7.3	2.7
販売管理費	1,043	16.2	1,015	14.5	997	14.7	975	14.2	△6.5	△3.9	△2.2
営業利益	506	7.9	534	7.6	621	9.2	686	10.0	35.6	28.5	10.5
営業外収益	5	0.1	1	0.0	7	0.1	4	0.1	△20.0	300.0	△42.9
営業外費用	53	0.8	44	0.6	35	0.5	32	0.5	△39.6	△27.3	△8.6
経常利益	458	7.1	491	7.0	592	8.8	659	9.6	43.9	34.2	11.3
特別利益	28	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	486	7.5	491	7.0	592	8.8	659	9.6	35.6	34.2	11.3
法人税等	91	1.4	62	0.9	50	0.7	32	0.5	△64.8	△48.4	△36.0
法人税等調整額	△15	△0.2	-	-	-	-	△ 54	△ 0.8	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	410	6.4	428	6.1	542	8.0	680	9.9	65.9	58.9	25.5

(注) 前期比、期初予想比、修正予想比はその増減比です。

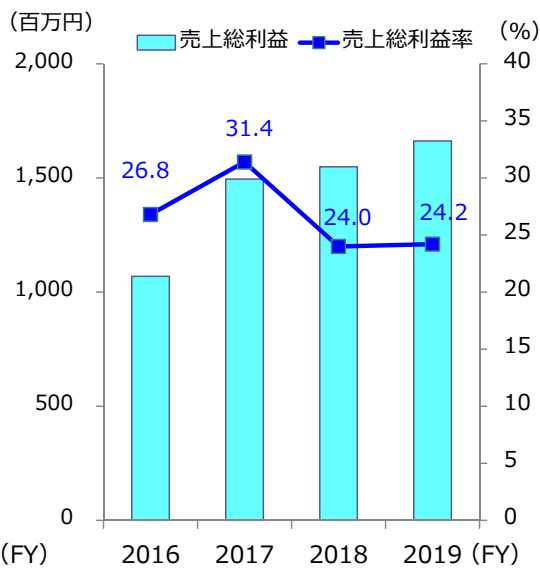
売上高の推移



増収

装置関連事業が好調を維持
環境関連事業も堅調に拡大

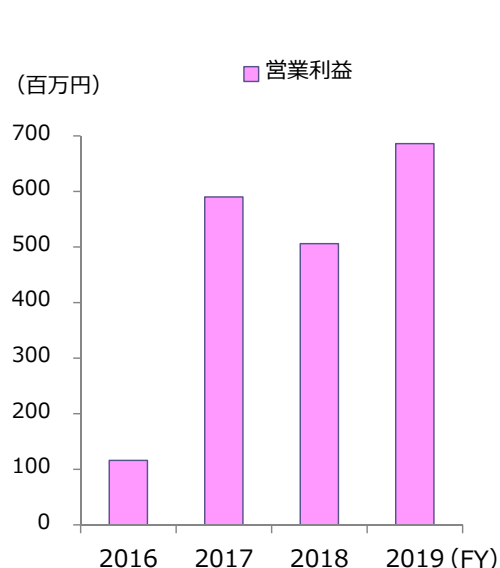
売上総利益の推移



増益

安定的に利益率25%程度を確保

営業利益の推移



増益

6期連続の営業黒字を達成

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

装置関連事業

(単位：百万円)

	2018年8月期		2019年8月期					
	実績		期初予算 (2018.10.9)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予算(%)
売上高	6,165	100.0	6,461	100.0	6,402	100.0	3.8	△0.9
売上総利益	1,436	23.3	1,390	21.5	1,519	23.7	5.8	9.3
販売管理費	459	7.4	417	6.5	369	5.8	△19.6	△11.5
営業利益	977	15.9	973	15.1	1,150	18.0	17.7	18.2

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予算比はその増減比です。

■売上高

- ・ほぼ期初予算どおりの売上高となった
- ・米国主要太陽電池メーカー向け大型ラインを予定どおり計上した
- ・自動化装置は635百万円の売上高となった
- ・部品販売が好調で予想を大きく上回った (期初予算比195%増)

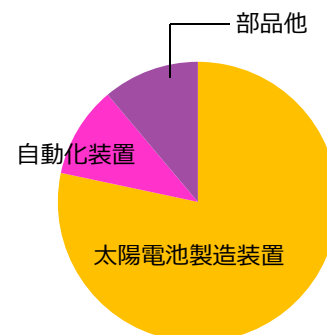
■売上総利益

- ・人件費が増加した一方で、それ以上の原価低減を達成して利益を確保した
- ・部品販売の増加にも後押しされ、利益率は期初予算を上回った

■販売管理費

- ・人件費が増加した一方で、貸倒引当金の実績率の改善、研究開発費の後ろ倒し等で減少した

2019年8月期 売上高比率



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

(単位：百万円)

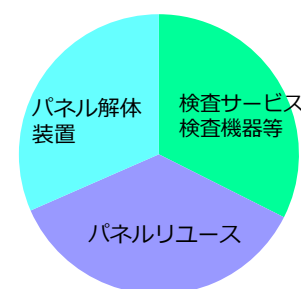
	2018年8月期		2019年8月期					
	実績		期初予算 (2018.10.9)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予算(%)
売上高	278	100.0	541	100.0	476	100.0	71.2	△12.0
売上総利益	112	40.3	158	29.2	143	30.0	27.7	△9.5
販売管理費	89	32.0	76	14.0	72	15.1	△19.1	△5.3
営業利益	23	8.3	82	15.2	70	14.7	204.3	△14.6

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予算比はその増減比です。

■売上高

- ・増収となったものの期初予算に対しては未達となった
- ・太陽光発電所の工期遅れが原因で検査サービスが売上計上できなかった
- ・パネルリユースは好調で予想を大きく上回った（期初予算比55%増）
- ・パネル解体装置は予定どおりとなった

2019年8月期 売上高比率



■売上総利益

- ・ほぼ予定どおりとなった
- ・人件費が増加した一方で、付加価値の高い事業のため高利益率を維持

■販売管理費

- ・人件費が増加した一方で、全体としてはほぼ予定どおりとなった

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

4

受注高・受注残高

(単位：百万円)

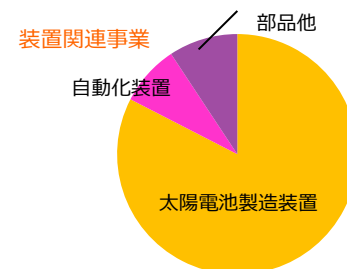
	2018年8月期		2019年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	6,663	4,993	8,900	33.6	7,492	50.1
環境関連事業	523	383	381	△27.2	289	△24.5
合計	7,186	5,377	9,282	29.2	7,781	44.7

(注) 前期比はその増減比です。

■装置関連事業

- ・太陽電池製造装置で主要顧客の新規ライン及び既設ラインの増設分を獲得
- ・主に上記太陽電池製造ラインに向けた部品受注が増加した
- ・自動化装置は自動車業界/電子部品業界からの受注が中心となった

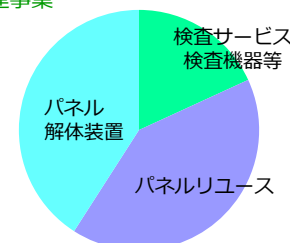
受注高の内訳



■環境関連事業

- ・当社が提供する高性能な検査サービスに対する需要は大規模発電所に限定されたため低調となった
- ・検査受注済の発電所の工期遅れにより、一部受注の獲得に影響があった
- ・リユースパネルに対する需要が高く受注は好調となった
- ・パネル解体装置は全自動ラインを1ライン受注した

環境関連事業



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

5

(単位：百万円)

	2018.8末	2019.8末		2018.8末	2019.8末
資産	8,059	7,922	負債	2,273	1,501
流動資産	3,851	3,815	流動負債	2,183	1,480
現預金	900	719	支払手形・買掛金・電子債務	874	879
受取手形・売掛金	1,820	2,221	前受金	921	199
仕掛品・製品・商品	807	531	その他	388	402
原材料・貯蔵品	151	83	固定負債	89	20
その他	173	261			
固定資産	4,207	4,107	純資産	5,785	6,420
建物・構築物（純額）	2,416	2,260	資本金・資本剰余金	5,547	5,547
土地	1,548	1,548	利益剰余金	209	846
その他	243	299	その他	29	27

■ 主な変動要因について

- 仕掛品と前受金が減少しているのは、2019年8月期末付近に大型案件の売上計上があったため。
- 業務削減のため、2019年8月期3Qから支払手形を廃止して電子記録債務（電債）を取り入れた。

■ 健全性について

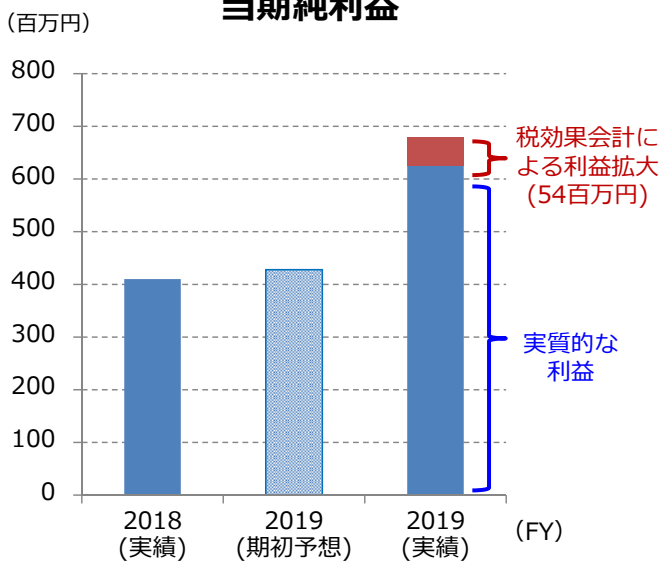
- 有利子負債ゼロ（無借金経営）を継続。
- メインバンク2行と借入可能額20億円のコミットメントライン契約を継続。
- 利益剰余金の増加で自己資本比率は81%と向上し、流動比率も257%と健全な経営状態を維持。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

当期純利益及び期末配当

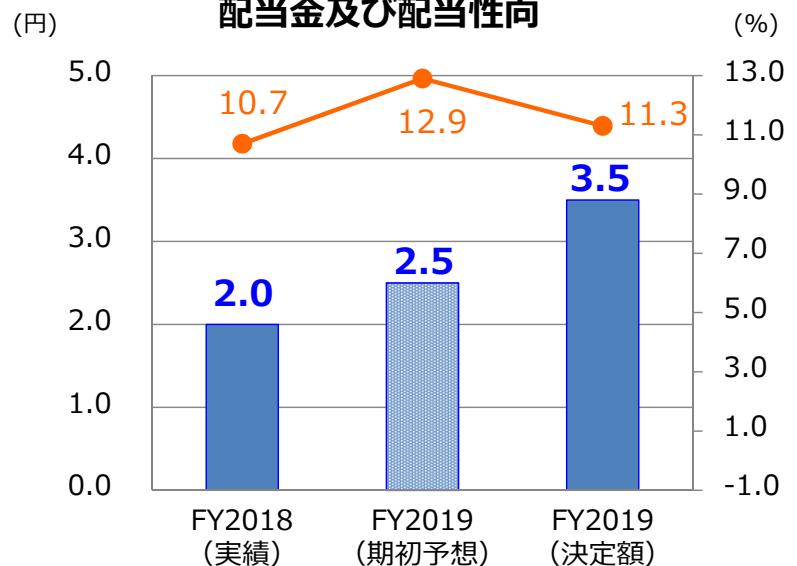
親会社株式に帰属する 当期純利益



2020年8月期の業績予想(増益)に伴い
繰延税金資産が増加

税金等調整で表面上の利益が拡大

配当金及び配当性向



EPS (円) **18.62** 19.43 **30.87**

配当性向(%) **10.7** 12.9 **11.3**

配当 (円) **2.0** 2.5 **3.5**

EPS増加に伴い増配を決定

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

時期	2017年8月末時点	2018年8月末時点	2019年8月末時点
総株主数	8,216名	7,654名	7,370名
保有割合			
平均出来高	347,552株/日 (発行済株式総数の1.58%)	1,384,675株/日 (発行済株式総数の6.28%)	871,982株/日 (発行済株式総数の3.95%)

機関投資家や外国人からの注目度が引き続き向上中

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

2019年8月期のIR活動

■ 会社説明会・見学会

日程	内容	参加人数
2018年10月	2018年8月期 決算説明会	61
2018年11月	株主向け会社説明会	42
2019年1月	個人投資家説明会（大和証券松山支店）	41
2019年4月	2019年8月期第2四半期 決算説明会	64
2019年4月	松山工場見学会（個人）	12
2019年4月	松山工場見学会（機関投資家・アナリスト）	5
合計		225

■ IR個別面談・電話会議

延べ 58 回

■ IRメルマガ登録者数

313名 1年間で
154名増



松山工場見学会の様子

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

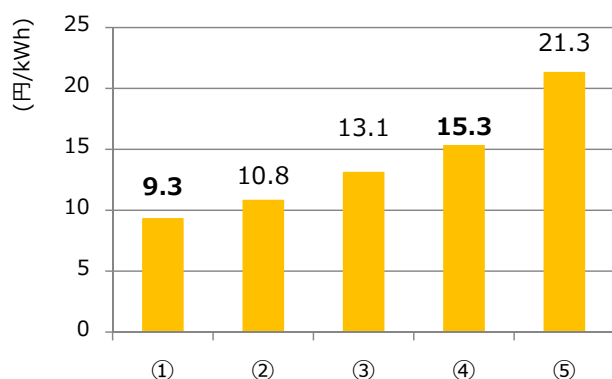
当社を取り巻く環境 当社の取り組み

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

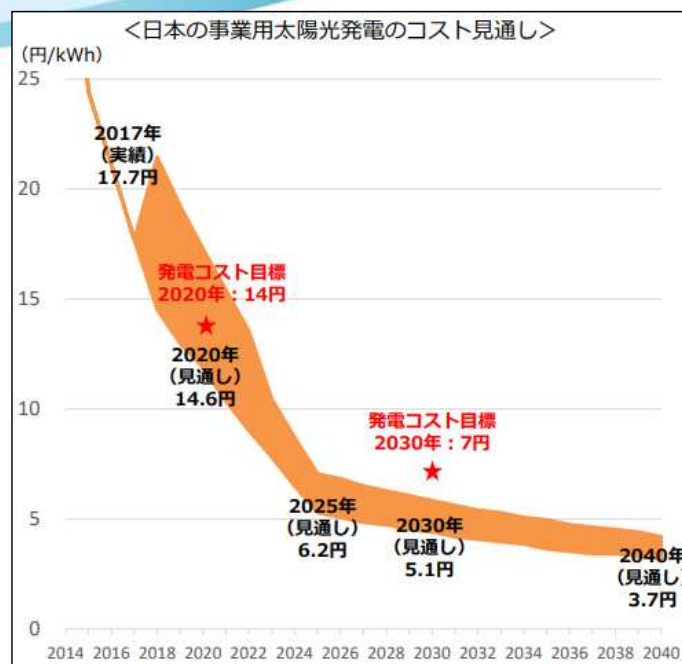
太陽電池市場（日本市場）

■ 太陽光発電コスト



- ①世界の加重平均発電コスト
- ②日本の最効率発電所の発電コスト
- ③熟練した発電事業者が最新パネルを個別発注で効率的に運用する発電所
- ④日本の平均的な発電所
- ⑤FIT初期に当時のパネルを使用してEPCに丸投げして運用開始した発電所

(出所：メガソーラービジネスニュース「2018年12月の太陽光発電コスト」20190731)



赤文字：資源エネルギー庁及びNEDOの目標コスト(2016策定)

黒文字：資源エネルギー庁が試算したコスト見通し(2018試算)

(出所：資源エネルギー庁「再生可能エネルギーの主力電源化に向けた今後の論点」20180829)

日本でも既に発電コストが電気料金（業務用14～18円/kWh、家庭用22～26円/kWh）を下回る
再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）に影響されない自律成長のステージへ突入している

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

11

■ 当社の事業環境及び固定価格買取制度（FIT）の影響

当社の製品・サービス

事業環境

太陽電池製造装置



- ・ 当社の主要顧客は米国の太陽電池メーカー
- ・ 米国太陽電池メーカーのメインターゲットは活況な米国市場

パネル検査サービス



- ・ 既にFITの認定を受けた未稼働の発電所は約30GW
- ・ 当面は日本国内においても太陽光発電所の設置は継続する
- ・ 既に稼働済の太陽光発電所の定期検査の獲得にシフト

パネルの
リユース・リサイクル

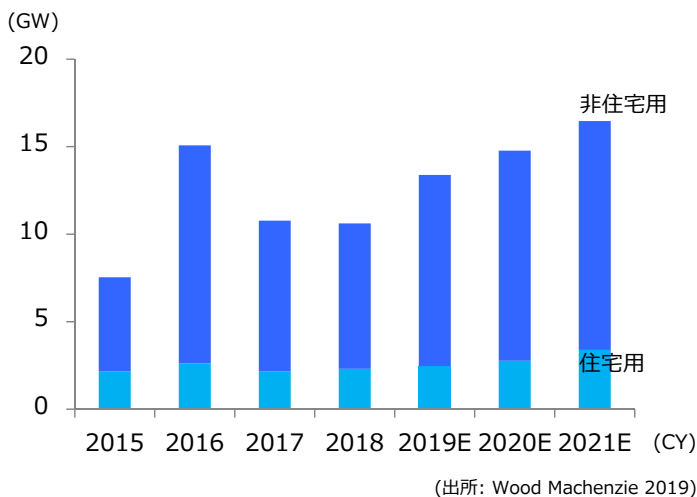


- ・ より低コストが必要な自家消費用としてリユースパネルが求められる
- ・ 日本は累計設置量60GW以上（世界3位）の潜在需要あり
- ・ 事業終了や自然災害による排出パネルは増加傾向

FITの買取価格が引き下げ又は終了したとしても、当社事業への影響はありません

太陽電池市場（米国市場）

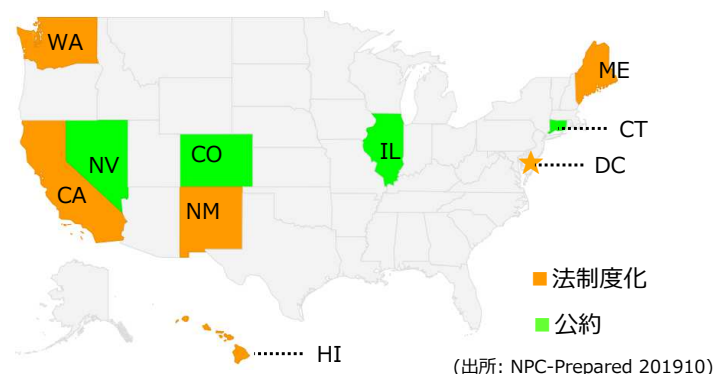
■ 米国の太陽電池設置量（年間）



■ 各州や都市におけるRE100の法制度化と公約

法制度化：カリフォルニア州、ハワイ州、ニューメキシコ州、ワシントン州、メイン州、ワシントンD.C.

公約：ネバダ州、コロラド州、コネチカット州、イリノイ州



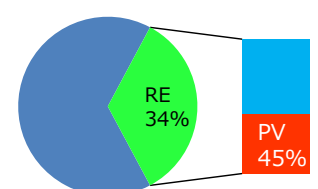
その他にも130以上の市でRE100%目標を宣言

州	設置量 (MW)	州	設置量 (MW)
カリフォルニア州	25,016	テキサス州	2,957
ノースカロライナ州	5,467	ニュージャージー州	2,829
アリゾナ州	3,788	マサチューセッツ州	2,535
ネバダ州	3,452	ニューヨーク州	1,718
フロリダ州	3,156	ユタ州	1,661

■ ハワイ州マウイ島の様子



■ カリフォルニア州の進捗率



当社の取り組み

装置関連事業 — 太陽電池製造装置

■ 主要顧客であるFirst Solar社の状況

- 2019年1月1日～8月1日のパネル受注は4.3GW
- 2020年の出荷量は5～5.5GWを見込んでおり、そのうち95%を受注済
- 2021年の出荷量は最大6.5GWを見込んでおり、そのうち半分以上を受注済

(出所: First Solar Q2'19 Earnings Call Presentation 20190801)



■ 今後の取り組み

- First Solar社向け対応
 - 納入済ライン及び新規ラインの現地サポート
 - コストダウン及び納期管理
 - 生産効率向上と協力業者による生産能力アップ
- First Solar社以外の米国における新興太陽電池メーカーとの取引拡大

■ 米中貿易摩擦による事業への影響

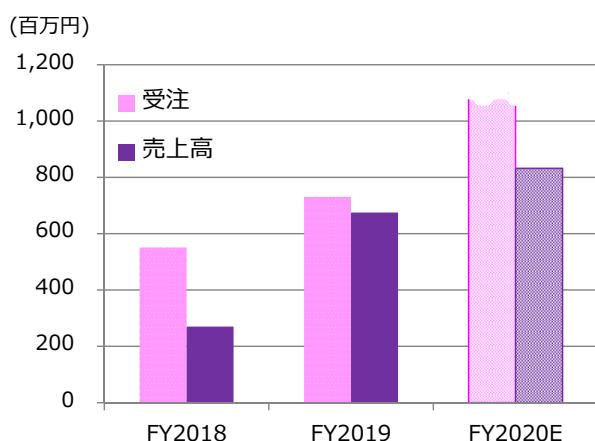
当社事業へ悪影響はなく、プラスの影響が出ている。

- 米国では中国製太陽光パネルに対して緊急輸入制限（セーフガード）で現在25%の関税がかかっているため、当社取引先である米国メーカーは受注や生産が好調
- もともと当社は汎用装置を使用している中国メーカーとの取引がない

当社の取り組み

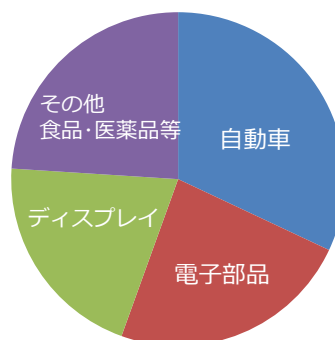
装置関連事業 — 自動化装置

■ 自動化装置の実績と見込



実績は順調に拡大中

■ 業界別受注高



様々な業界から受注獲得



■ 今後の取り組み

- 生産能力と技術力を活用し、一貫ラインの請け負いとエンジニアリングの提供
- 海外に対する安全基準等のノウハウや経験を活用し、米国の様々な業界に対する自動化装置の提供
- 大手顧客からの受注を獲得し、既存顧客として継続的に取引を拡大させていく
- 海外技術者の採用による設計・電気設計部門の強化

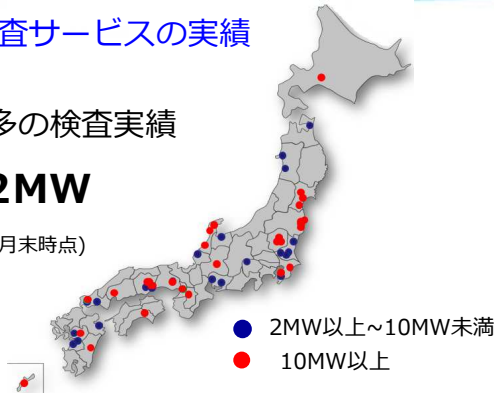
当社の取り組み 環境関連事業 — パネルの検査サービス

■ パネル検査サービスの実績

日本最多の検査実績

1,452MW

(2019年8月末時点)



■ 発電所の規模別検査状況

検査済案件と契約済案件（検査予定）を合算した数値

1件当たりの規模	発電所数	合計電力
2MW未満	114件	57MW
2MW~10MW未満	26件	117MW
10MW以上	38件	1,867MW
合計	178件	2,041MW

■ 今後の取り組み

- パートナー企業の拡大（アウトソース体制の構築）による検査体制の充実
- 従来の直流側（太陽光パネル）のみならず交流側も検査対象としたサービス範囲の拡大
- 市場ニーズに合致した低コスト・短時間で検査できる簡易検査メニューの提供（抵抗検査とドローンIR検査）
- 1件あたり2MW以上の大規模発電所の使用前自主検査と定期検査に注力



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

16

当社の取り組み 環境関連事業 — リユースパネルの販売

■ リユースパネルに対する様々なニーズと当社の実績

- 強み**
- ・ 太陽電池に対する深い知見と経験による信頼度（質の悪いと判断したパネルは取り扱わないという実績）
 - ・ 太陽光発電所の検査サービスを通じて構築してきた業界ネットワーク（約1,000社）

売手のニーズ

- ・ 発電事業の終了による撤去
- ・ パネル置き換えによる排出
- ・ 予備で確保していた在庫パネル
- ・ 災害によって水没したパネル等



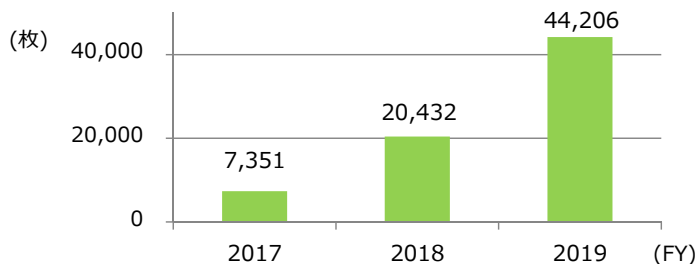
売手と買手をマッチング
コストを抑えて低価格で循環させる

買手のニーズ

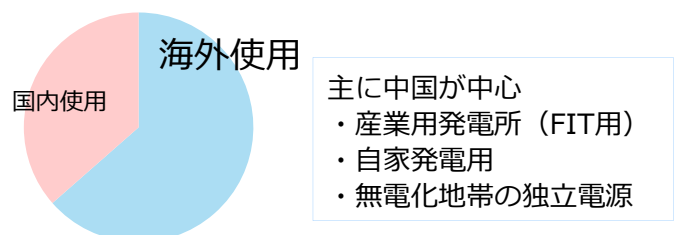
- ・ 自家発電のための安価なパネル
- ・ 高品質とされる日本で流通するパネル（海外からのニーズ）

最低限の安全検査、原則保証なし、物流は直送

パネルリユースの累計実績：71,989枚



リユースパネルの仕向地割合



■ 今後の取り組み

- 業界ネットワークを活用した排出パネルの確保
- 海外向け販路の拡大（中国、東南アジア、中東、アフリカ等）

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

17

当社の取り組み 環境関連事業 — パネル解体装置

■ 太陽光パネル解体ラインの実績

装置導入の状況 パネルの大量廃棄時代はまだ先で、現状は資金力がある企業の導入に留まる

稼働済施設（3カ所）

- ・株式会社エヌ・ピー・シー（松山）
- ・株式会社浜田（東京）
- ・平林金属株式会社（岡山）

FY2020稼働予定（2カ所）

- ・東北地方
- ・近畿地方



技術的成果

- ・「ホットナイフ分離法®」に関連する**特許取得実績4件**
- ・「第47回日本産業技術大賞」審査委員会特別賞を受賞

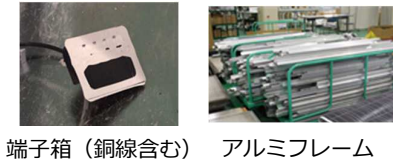
■ 簡易型パネル解体装置の提供

- 有価物として販売しやすい端子箱（銅線含む）とアルミフレームの回収に特化した解体装置
- トラックに積んで発電所等の現場で解体が可能なモバイル解体装置
- 低価格で提供して国内外に広く普及させる



■ その他の取り組み

- 中間処理業を通じて解体装置をアップグレード
- 米国（カリフォルニア州、ハワイ州等）への解体装置の販売
- 環境省や中小企業庁等が公募している補助金を活用した提案
- パネルリサイクルが義務化されるためのロビー活動



当社の取り組み 環境関連事業 — 太陽光パネルの中間処理業

■ 太陽光パネル中間処理の開始（2019年7月開始）

目的

- ①将来的なストックビジネスとして安定的な業績貢献を見込む
- ②中間処理業を通して得られた情報を解体装置の開発・改良に繋げる
- ③増加している自然災害で損害を受けたパネルの処理方法が分からない発電事業者が多いことから、**多くの人達に排出パネルの受入（リサイクル）ができることを知ってもらう**

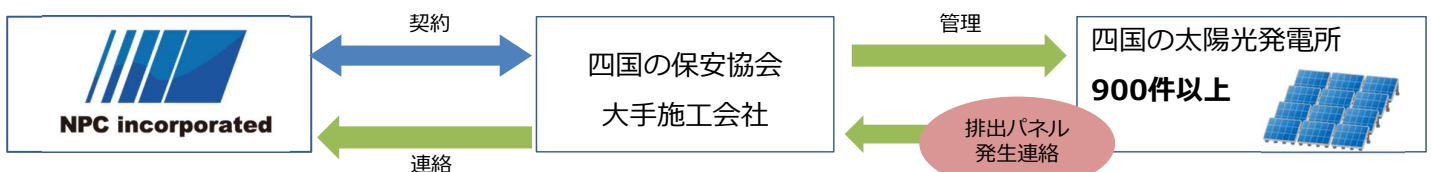
事業概要

処理場	株式会社エヌ・ピー・シー 松山工場B棟
処理能力	7.87t/日（パネル換算で約400枚分）
処理価格	150円～180円/kg
再資源化率	86%（端子ボックスと精錬所からの燃え殻以外はリサイクル）

※JPEA（太陽光発電協会）のホームページで優良処理事業者として掲載あり

■ 今後の取り組み

- 知名度を向上させる（積極的なメディア露出、愛媛県資源循環優良モデル認定の取得）
- 廃棄に関する包括契約を事前締結して四国内の排出パネルの情報を獲得するスキームづくり
- 大手産廃業者とのアライアンスを構築して四国以外からの回収ルートづくり



2020年8月期 業績予想

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

20

2020年8月期 業績予想

連結損益計算書

(単位：百万円)

	上期		下期		通期		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	2,147	100.0	6,087	100.0	8,234	100.0	19.7
装置関連事業	1,850	86.2	5,876	96.5	7,726	93.8	20.7
環境関連事業	297	13.8	211	3.5	508	6.2	6.6
売上総利益	599	27.9	1,273	20.9	1,872	22.7	12.7
装置関連事業	483	26.2	1,205	20.5	1,689	21.9	11.2
環境関連事業	115	38.7	67	32.2	183	36.0	27.9
販売管理費	528	24.6	531	8.7	1,059	12.9	8.6
営業利益	70	3.3	742	12.2	813	9.9	18.4
営業外収益	0	0.0	0	0	0	0.0	△86.8
営業外費用	11	0.5	19	0.3	30	0.4	△5.6
経常利益	59	2.8	723	11.9	783	9.5	18.8
特別利益	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	59	2.8	723	11.9	783	9.5	18.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	2.4	656	10.8	707	8.6	4.0

(注) 前期比はその増減比です。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

21

■売上高

- ・豊富な期末受注残高に期中受注・期中売上を加えて大幅増収となる
- ・引き続き装置関連事業が当社の主力事業となる
- ・影響度が大きい主要顧客プロジェクトのスケジュールにより前期同様下期偏重となる

装置関連事業

- ・期末受注残高は売上高予想の約97%に相当する
- ・太陽電池製造装置は米国主要顧客向け新規ライン及び既存ライン増設の売上を見込む
- ・自動化装置は前期比23%の増加を見込む
- ・部品販売は前期同様に期初段階では堅く見積もる

環境関連事業

- ・後ろ倒しとなっていた検査サービスの売上計上を見込む
- ・排出されるパネル数が不確定なパネルリユース・リサイクルは、確実な案件以外は織り込まず
- ・パネル解体装置は全自動ラインと簡易型装置の期中受注・期中売上で増加を見込む

売上総利益、販売管理費、利益、配当

■売上総利益

- ・装置関連事業では、以下を背景として前期比1.8ポイント低下
 - ① タイムな生産状況により人件費や外注費用の増加が見込まれる
 - ② 開発要素を含む案件がある自動化装置の売上比率が増加する
 - ③ 利益率が高い部品販売を堅く見ている
- ・環境関連事業では、高付加価値サービスを提供するため高い利益率を維持

■販売管理費

- ・人件費の増加、研究開発費の増加、新規事業への取り組み等の影響で前期比8.6%の増加

■営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益

- ・増収に伴い増益となる見込み
- ・利益も下期に偏重する
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、税効果会計の発生を織り込まず

■配当予想

利益状況等を勘案し期末配当として1株あたり3.5円を予想（前期同額）

	EPS(円)	配当性向 (%)	配当金 (円)
FY2020【予想】	32.09	10.9	3.5
FY2019【実績】	30.87	11.3	3.5

■設備投資費、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

	2018年8月期 実績	2019年8月期 実績	2020年8月期 予想	備考
設備投資費	23	35	78	人事・給与システム、ネットワーク関連機器、工場棟のLED化、設計ソフト、電話交換機等
減価償却費	201	196	200	大きな設備投資もなく横ばいとなる見込み
研究開発費	91	53	70	太陽光パネル解体装置、新規事業への開発等

■ガバナンス強化／市場価値向上の取り組み

- 社外取締役を1名増員させて**2名体制**へ（取締役会の**社外割合が40%**に向上する）
- 取締役に対する報酬制度として譲渡制限付株式を導入
- 自己株取得による機動的な資本政策ができる体制の構築
 取得上限：50百万円、15万株
 取得期間：2019年10月10日から2019年11月22日

まとめ

太陽電池製造装置	<ul style="list-style-type: none"> ■ First Solar社向けの装置を期日通りに製作・出荷・納入していく ■ 米国を中心とした新興太陽電池メーカーとの取引拡大
自動化・省力化装置	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国を中心とした海外展開 ■ 国内外の大手企業との取引拡大 ■ 一貫ラインの請け負い
検査サービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検査体制の充実、検査メニューの拡大
パネルのリユース・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ■ リユースパネルの販売ネットワークの拡大 ■ 中間処理業を通じて解体装置をアップグレード
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業に拘らない新規事業の立ち上げ ■ M&A、業務提携等

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット



適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。



月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。



不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

26

本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

27